

文化庁優秀映画賞
文部科学省選定

優秀映画鑑賞会特別推薦
日本教育映像祭 優秀賞

伝統工芸の名匠

人形作家 秋山信子
一心やすらぐ人形を一



「人形作家 秋山信子 一心やすらぐ人形をー」を監修して

白石和己（三重県立美術館館長）

秋山さんの作品は、愛らしさの中に内面的な深さと芯の強さを感じさせる。そうした人形制作の動機は一体何なのだろうか。この映画は、人形の制作工程を記録すると同時に、秋山さんのそうした制作の秘密に迫ろうとしたものである。

映画は、地元・大阪の河内長野市に伝わる獅子舞をテーマとした、秋山さんの制作過程を中心に展開される。いつもは柔軟な優しい秋山さんだが、獅子舞を取材する際の、真剣な鋭い眼差しが印象的だ。桐の木で人形の首（かしら）を彫り、また胴や手足も桐の木を組んで大まかな骨組みを作る。首や胴、手足の細部にヘラで桐塑を付けて肉付けをするのだが、見事な手さばきで仕上げてゆく過程は思わず見とれてしまう。その後、何度も胡粉を塗ったり、和紙を貼ったり、布を貼ったり、漆を塗ったりと、複雑な工程を経て完成に至る。このような制作過程が丹念に映像で捉えられてわかりやすい。朝のやわらかい光の中で、顔を描く時の様子なども見応えがある。

秋山さんは、自然の風物やとの出会いによって、心に感じられるものが制作の動機になっているようだ。沖縄を主題にした人形は、秋山さんが人々や自然に深く感動して制作したことが、自然をバックにした美しい画面によってよく理解できるし、人形制作を始めたきっかけなどにも触れられていて、豊富な内容である。

技術的な制作工程ももちろんだが、秋山さんの人形制作に賭ける情熱、深い思いなど、人間的魅力をもよく伝えている映画となった。



完成した人形「豊穢」



桐の木で作った骨組みに桐塑で肉付けする



桐塑の上に何回も胡粉を塗る



紙や布で衣裳を付ける



朝の光の中で顔を描く

「秋山さんの人形の魅力」

村山正実（映画監督）

秋山信子さん的人形の場合、人形につけられた題名が独特である。例えば「夕凧（ようどれ）」「野遊（ヤユー）」「きからじ」「八重干潮伝説」「山籠（さんらい）」などなど、ずいぶんと難しい題が多い。構想中に題名が決まると、もう人形の形の全体が出来あがっているというから、そこには秋山さんの「想い」の全てが込められているように感じられる。つまり言葉の持つイメージとその言葉の背後にある世界がひとつの人形に込められているのだ。「大月（うふつき）」という名の人形は次のような「八重山の子守歌」から取られていることを後になって教えて頂いた。

（原歌）

一、月ぬ美しや
十日、三日
乙女美しや
十七つ
一、東からありおる
大月（うふつき）ぬゆ
沖縄ん八重山ん
照らしたぼうり

（訳歌）

月の美しいのは
十三夜の月で
乙女の美しいのは
十七、八の頃
東の空から昇ってくる
まんまるい大きなお月さまよ
沖縄も八重山も
照らしてちょうだいな



人形「大月」

その他にも琉歌（琉球歌謡）には沢山の「月」の歌があり、秋山さんには「月」を題にした人形がたくさんある。その人形につけられた題のひとつひとつの意味を知ることが出来れば、より一層深く秋山さん的人形の魅力を感じることが出来ると思う。

何時も「その人形が何を考えているのか」に想いを巡らせながらつくるという秋山さん。人形の表情も独特である。また古楽器を持った人形も多く、こうした人形を見ると歴史のロマンをも感じさせてくれる。



人形「野遊」



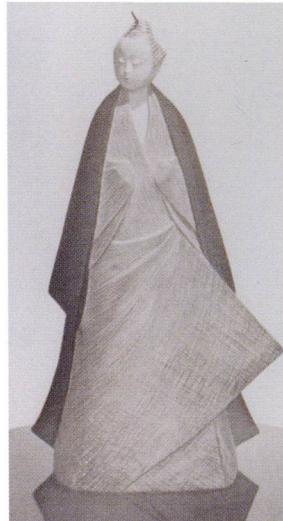
人形「八重干潮伝説」



人形「山籠」



左より堀柳女、大林蘇乃、右：秋山信子



人形「潮騒」。第7回日本伝統工芸展に初入選、奨励賞を受賞



桐塑人形の起源、江戸時代の雛人形

作品名：シリーズ＜伝統工芸の名匠＞
「人形作家 秋山信子」一心やすらぐ人形を一

(35mm／カラー／38分)

企画：(財)ポーラ伝統文化振興財団

製作：(株)桜映画社

監修：白石和己（三重県立美術館館長）

<製作スタッフ>

製作：村山正実

：山本孝行

監督・脚本：村山正実

撮影：西山東男

撮影助手：今野聖輝

：新藤多門

照明：本橋俊男

助監督：井上 実

編集：吉田栄子

ネガ編集：加納宗子

選曲：山崎 宏

録音：荒井富保

録音：アオイスタジオ

効果：岡瀬晶彦

タイトル：菁 映 社

題字：羽生紫蘭

現像：イマジカ

語り：中西妙子

<協力>

東京国立近代美術館 工芸館

山田弘子

吉徳これくしょん

山崎美千子

松下美術苑 真々庵

与那国民俗芸能伝承保存会

(財)ポーラ美術振興財団

与那国民俗資料館館長 池間 苗

河内長野市

大阪リーガロイヤルホテル 桐塑創作人形教室の皆さん

日野地区獅子舞保存会

財団法人 ポーラ伝統文化振興財団

〒141-0031 東京都品川区西五反田2-2-10 ポーラ第2五反田ビル2階
TEL.03-3494-7653 FAX.03-3494-7597